**【テーマ7】　学校の組織力向上と開かれた学校づくりをすすめます**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | **◆校長マネジメントを強化し、学校の特性や生徒の課題に応じた学校経営を推進します。** **◆保護者等への情報発信を充実するとともに、地域や保護者のニーズを十分に反映した開かれた学校づくりをすすめます。** **◆ＩＣＴを活用した校務の効率化等を推進します。** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **校長マネジメントによる学校経営の推進**  |  |  |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.3月末時点）＞** |
|  | **■予算面等における校長のマネジメント強化**＊学校経営推進事業 ・学校経営計画(\*20)による学校経営を推進するため、高い効果の見込まれる事業計画を提案する府立・私立学校に対し、予算措置を行います。 ＊校長マネジメント推進事業 ・広報充実費等、校長・准校長の責任と権限において執行できる予算を配当します。は、公私双方を対象とする取組み**■教職員の「働き方改革」の推進**・平成30年3月に取りまとめた「府立学校における働き方改革に係る取り組みについて」に掲げる取組みを着実に実施していきます。　　　　全校一斉退庁日　　　　ノークラブデー　　　　学校閉庁日　など＊部活動指導員の配置・モデル実施校を20校に増やし、教職員の更なる負担軽減に努めます。 | ◇成果指標（アウトカム）（数値目標）・学校経営計画に示す教育目標の実現度80％以上　（参考）平成30年度　72.9％　　　　　　　　◇活動指標（アウトプット）・教員の年間１人当たり平均時間外在校時間を、すべての校種で対前年度比で減少させます。◇成果指標（アウトカム）（数値目標）・顧問が休日に部活動に携わる時間を60％削減します。・顧問の専門性等をサポートし、心理的負担軽減を達成します。対象顧問へのアンケートにおける軽減結果を感じる割合　100％・対象顧問の時間外在校時間を月27.5時間以内まで削減します。・学校全体の時間外在校時間を削減します。 | ○予算面等における校長のマネジメント強化　＊学校経営推進事業・事業対象校11校（府立11校、私立なし）へ予算を配当した。指導主事が対象校に赴き実地調査及び指導助言を行った。\*校長マネジメント推進事業・すべての府立学校に予算配当した。○教職員の「働き方改革」の推進　・平均時間外在校時間累計（平成31年4月～令和2年1月まで）前年同期比：全校　▲9.1時間全日制　▲8.6時間　　　　　　　　　　 定時制通信制　▲6.6時間支援学校　▲7.0時間＊部活動指導員の配置　・６月～７月に各校に配置。・休日における部活動指導員による教員の負担軽減率は目標60％に対し、55.1％であった（6月～2月）。・学校からは、「技術指導ができない教員の精神的負担が軽減できた。」「長期休暇中に連続休暇がとれるようになった。」「退勤時間が早くなった。」「用具等の点検・環境整備（コートの補修等）をしていただけた」等の声があった。 |
| **地域・保護者との連携による開かれた学校づくり**  |  |  |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | **▶** | **＜進捗状況（R2.3月末時点）＞** |
|  | **■学校運営協議会による保護者・地域ニーズの反映**＊学校運営協議会の設置 ・学校運営協議会の意見を踏まえた学校経営計画の策定や学校評価を行うことにより、保護者や地域の住民との連携協力と学校運営への参加を促進します。 　※平成30年度、全府立学校に学校運営協議会設置済＊保護者の申し出制度(\*21)・府立学校の教員の授業その他の教育活動に関する保護者からの意見の申し出に関し、学校運営協議会において調査、審議し、学校に対し適切な対応を意見具申します。 | ◇活動指標（アウトプット）（定性的な目標）・学校運営協議会の意見をふまえた学校経営を進めます。◇成果指標（アウトカム）（定性的な目標）・保護者や地域住民等のニーズを十分に反映した開かれた学校づくりを進めます。 | ○学校運営協議会による保護者・地域ニーズの反映・すべての府立学校において、学校運営協議会を３回実施した。・学校運営協議会では、学校経営計画の進捗状況について、協議会委員から意見を伺うことにより、より良い学校運営をめざすとともに、開かれた学校づくりをすすめている。 |